

Human ヒューマン

CONTENTS

2018.2 Vol.10

02 特集

英米文化学科の英語

ここにしかない 10 の魅力!

04 北海学園大学人文学部と北海商科大学が連携協定調印

05 人文学部 個性派学生紹介!

06 ゼミ紹介

日本文化学科 大石 和久 3年ゼミ (1部)
英米文化学科 米坂スザンヌ 3年ゼミ (1部)

07 就活応援

裏表紙 人文学部 TOPICS

人文学会レポート／
人文学の挑戦／
「弁論のススメ」開催／
新ひだか町図書館への図書寄贈



文化を学ぶ
世界と繋がる

英米文化学科の英語 ここにしかない10の魅力!

Point. 01 | 学部独自の多彩な英語科目

英米文化学科では、効果的に英語 4 技能を習得できるよう、合計 28 種類の多彩な英語科目を履修できます。TOEIC®Listening and Reading テスト、Speaking and Writing テストで高得点を獲得するのにとどまらず、海外の大学や国際ビジネスでも通用する高度な英語力とコミュニケーション能力の獲得を目指します。

人文学部の英語科目

英語力の加速ステージ	3 年次	Special Lectures in English II	Special Skills II	Intensive Communication Skills II		Cultural Perspectives in English VI	
		Special Lectures in English I	Special Skills I	Intensive Communication Skills I		Cultural Perspectives in English V	
	2 年次	国際文化特別演習 (3ヶ月留学プログラム)	Global English IV	Reading IV	Communication Skills IV (週2回)	Writing IV	Cultural Perspectives in English II
			Global English III	Reading III	Communication Skills III (週2回)	Writing III	Cultural Perspectives in English I
	1 年次	英米文化特別演習 (3週間留学プログラム)	Global English II	Reading II	Communication Skills II (週2回)	Writing II	英語音声学
			Global English I	Reading I	Communication Skills I (週2回)	Writing I	英文法

学習内容と目標

- 言語・コミュニケーションスキルにポイントを置き、様々な言語運用の場面に対応できる実践的な英語運用能力を獲得します。
- 大学の授業などアカデミックな場面やビジネス・日常のコミュニケーション場面で使用される重要な言語表現を習得します。
- 人文学部オリジナルの特別教材を使用し、確かな知識に基づいた言語運用能力を身につけます。

主体的な学びのサポート

- 母語話者アドバイザーから個別に助言を受けることで、苦手分野を克服できます。
- 英語教育を専門に研究する教員とのコミュニケーションを通して、多文化・異文化理解を踏まえた英語運用能力を身につけます。
- オンラインの英語教材を活用し、各自の能力レベルに応じた学習を主体的に進められます。

Communication Skills I-IV 週2回の会話クラス

調査・発表などアクティブな学びを通して、英語の4技能(話す・聴く・書く・読む)をバランスよく身につける。

Global English I-IV TOEIC対策

日常生活やビジネスで用いられる英語をオンライン学習システムで練習する。学術・ビジネスに必要な基礎語彙を身につけ、TOEICテストでの高得点を獲得する。

Reading I-IV 読むスキル

精読を通して正確に読む力を、多読を通して速く読む力を身につける。学習者間の協働学習により批判的思考力を獲得する。

Writing I-IV 書くスキル

教員による添削指導を繰り返し受けるプロセスライティングの手法を用いて、学術的な文章やビジネス文書のライティングスキルを向上させる。

Cultural Perspectives in English I-VI 文化理解と言語学習

人文学部で学ぶ各分野(言語文化、思想文化、歴史文化、環境文化)から重要なトピックを取り上げ、発表・作文とディスカッションを通して総合的な英語スキルを上達させる。

Intensive Communication Skills I-II 集中会話クラス

英語メディアを題材にしたディスカッションを通し、意見交換・交渉にかかわる実践的コミュニケーションスキルを向上させます。

Special Lectures in English I-II 英語による多様な専門科目

英語による専門講義により、6つのテーマ(文化地理、ヨーロッパ文学、応用言語学、政治、歴史、宗教)に関するアカデミックスキルを向上させる。

Special Skills I 翻訳入門

翻訳にかかわるプロフェッショナル・スキルを理解し、翻訳の基本的な知識・技術を身につける。

Special Skills II 通訳入門

通訳にかかわるプロフェッショナル・スキルを理解し、通訳の基本的な知識・技術を身につける。

Point. 02 確かな教養に基づき、国際的に活躍する英語話者になる

人文学部は、これまでの伝統的な英語教育の限界を越え、異文化間での価値観の違いを深く理解する教養を備えた、国際的に活躍する英語話者・グローバル人材を育成します。

👏 人文学を網羅する英米文化学科教員 16名

人文学部では、4年間で学んだ英語科目での学びの成果を集大成として卒業研究に活かします。英米文化学科は、人文学の各学問領域を網羅する形で、それぞれの分野の第一線で活躍する教員を擁しています。

思想文化
3名

ヨーロッパ文化論、西洋思想史、キリスト教学、宗教学

言語文化
8名

言語学、英語学、英米文学、ヨーロッパ文学、英語教育、異文化コミュニケーション

歴史文化
3名

アメリカ史、イギリス史、フランス史、ヨーロッパ史

環境文化
2名

文化人類学、メディア文化論、海外現地調査

👏 「日本文化」を英語で説明できますか？

外国人とのコミュニケーションにおいて、日本文化への深い理解は欠かせません。英米文化学科では日本文化学科で開講されているすべての専門講義科目を受講可能となっており、道内最大規模の日本文化学科の資源を活用できます。

選べる! 日本文化関連の専門科目群(一例)

日本文化概論

日本映画論

日本芸術史

日本語教授法

日本文学史

日本文学特論

日本史概論

日本史特論

アイヌ文化論

日本文化特別演習
(京都研修)

書道演習

他多数…。

Point. 03 母語話者教員による少人数制教育

英語科目のほとんどで、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアなど様々な国出身の教員による少人数制指導を行っています。

Point. 04 留学＝異文化コミュニケーションの実践

カナダ協定校で実施される特別演習(3週間・3ヶ月)では、語学研修・ホームステイを通して英語力を高め、異文化コミュニケーションを実践します(裏表紙の体験談もご覧ください)。

Point. 05 実践的な英語教育の現場体験

高校生の英語学習を支援する活動(English Support Lounge)を通して、実践的な英語教育力を養います。同じキャンパスにある併設高校で、教育実習では得られない経験ができます。

Point. 06 英語教育研究会

英語教員(中学・高校)や英会話学校教員を志す学生やすでに現場で教員として活躍する卒業生も参加する研究会を通して、在学中も在学後も頼りになるネットワークを作ることができます。

Point. 07 伝統ある日本語教員養成課程

人文学部では、在学中に身に付けた英語力や教養を卒業後に日本語教員という“カタチ”にすることもできます。卒業後すぐに海外で日本語教師として働く卒業生も多くいます。

Point. 08 イングリッシュ・ラウンジ

人文学部のJeremie Bouchard先生を中心とした週に2回のランチタイム・チャットをはじめ、英語学習にかかわる学生参加型イベントを行なっています。

Point. 09 無料で使える英語学習ツール

人文学部では時間や場所の制限なく、オンライン教材が無料で利用でき、TOEICなどの対策を自分のペースで進めることができます。

Point. 10 北海学園大学であること

道内最大の私立総合大学である北海学園大学では、官公庁や民間企業であなたの獲得した教養・英語力を活かした就職を支えるOB・OGネットワークが道内外に展開されています。

北海学園大学人文学部と 北海商科大学が連携協定調印

単位互換によって北海商科大学の 観光産業関連科目の履修が可能に！

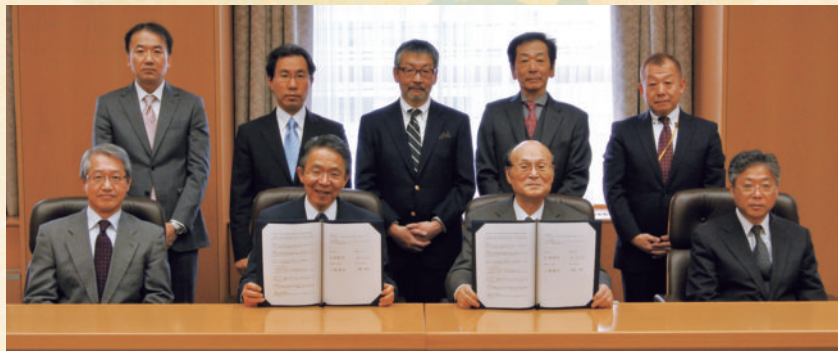
2017年11月9日、北海商科大学商学部と北海学園大学人文学部との間で単位互換連携協定の調印式が執り行われました。北海商科大学学長で学校法人北海学園理事長でもある森本正夫先生と、北海学園大学学長の安酸敏眞先生および、伊藤昭男商学部長と上野誠治人文学部長の署名、調印により協定が正式に締結されました。調印式の後には協定の策定作業に携わった教員と事務員を交え、両学部の交流による教育環境の整備と学生のキャリア形成の支援態勢について懇談しました。

人文学部は、本学の中でも特に観光業界への就職を希望する学生が多い学部です。実際、毎年コンスタントに観光、旅行業界にたくさんの人材を輩出し、卒業生はそれぞれの業界で重要な仕事を担っています。とはいえ、本学部のカリキュラムには、欧米、および日本に関する文化関連科目が充実する一方、残念ながら観光ビジネスに関連する科目がありませんでした。今回の協定締結は、学生のニーズに応え、教育環境のより一層の改善を図るためのものですが、その目的は、観光、旅行業界への就職活動を有利にすることにとどまるものではありません。人文学の土壌に観光ビジネスの種を蒔くことには、単に就職活動に役立つというレベルを超えて、高いマネジメント能力を身につけ、就職後のキャリアパスをより高度化し、将来、業界の中核として活躍する人材に育ててほしいとの期待が込められています。

本協定により、所定の手続きを経た本学部学生は、特別科目等履修生として商科大学商学部の観光関連科目を受講できるようになります。両学部の受け入れ人数は、各年度10名以内、修得単位数は各履修者12単位以内です。開講科目、出願要件等の詳細は前年度末に公示します。

2017年度からは、本学を会場にした世界遺産検定の団体受験の実施に加え、教育連携協定により「ANA エアラインスクール札幌短期集中コース（2月開講）」の優待受講制度が利用できるようになりました（いずれも全学部生対象）。

文化への造詣と、文化を資源として活用するマネジメント能力は、観光、旅行業界で大きな仕事をする上で必須のスキルです。あらゆるチャンスを活用し、能動的に「自分で学ぶ」姿勢で、これからも自分を磨いてください。



人文学部個性派 学生紹介!



竹原 亮太

人文学部英米文化学科 3 年

粹〜 IKI 〜 北海学園大学は、今年で 21 周年を迎えたよさこいソーランサークルです。振付師は、粹では「振り隊長」と言われています。振りを作ってくれる先生方と協働して作品作りを進めることが主な仕事で、作品作りが始まるまでは、定期的に練習メニューを考え、踊り子のスキルアップや技の習得などを行ったり、各地方の演舞を引き受け、披露したりしています。

振り隊長の面白さは、自分次第で作品をより良く、さらには感動させることができる作品にできることです。そのためには様々な試行錯誤を繰り返していかなければならず、今年の作品では、僕は隊列を作って変えて、作って変えてを 100 回くらい繰り返した気がします (笑)。

現在の踊り子の人数は約 80 名で、今年の YOSAKOI ソーラン祭りでは、皆様のご支援のおかげで、約 300 チーム中 2 位という輝かしい成績をおさめることができました。来年は、大賞を目指し、踊り子一同より一層努力していきたいと思っています。今後とも応援のほどよろしく願いいたします。



人文学部には約 1200 人もの学生が在籍し (2017 年 5 月現在)、それぞれ勉強やサークル、課外活動など精力的な活動を行っています。本コーナーでは各方面で活躍している個性派学生をピックアップ! インタビューを交えて紹介いたします。



湊 明穂

人文学部日本文文化学科 2 年

私は北海道の女子サッカーチームであるノルディーア北海道に所属しています。私がサッカーを始めたのは小学生の頃でしたが、その頃は女子サッカーチーム自体少なく、男の子たちと一緒に地域のサッカーチームでボールを追いかけていました。今も男子サッカーと比べると女子サッカーは身近なスポーツとはいえないかもしれませんが、女子サッカーの発展のため日々努力しています。

私が所属するチームは選手の年齢も職業もバラバラですが、全員が 1 つの目標に向かって一緒に戦うのはとても楽しいです。他にも毎年冬になったらチームでスキーマラソンに参加したり、北海道の地域活動に参加できるのも楽しいです (試合で他県へ移動する時などは大変ですが…)



今後の目標はサッカーの技術の向上だけでなく、今まで支えてくれた人たちへサッカーを通して恩返ししていけたらと思います。



日本文化学科

大石和久
3年ゼミ(1部)
【映画・写真・マンガの美学】

私のゼミでは、映画を実際に鑑賞しながら、その映画の評論を批判的に読み解く作業を行います。言うまでもないことですが、映画を観ることは実に楽しい(特にいい映画に巡り会えたときは)。しかし、もちろん、ゼミで映画を観るとは単なる娯楽ではありません。ゼミでは、理論的なテキスト(言葉)を通じて、映画鑑賞の体験を深める作業を行います。

今年はフランスの映画評論家のアンドレ・バザン(1918-1958)が著した、映画評論の古典として名高い『映画とは何か』を読んでいます。その中から、アンリ＝ジョルジュ・クルーゾー監督の『ミステリアス・ピカソ―天才の秘密』、ヴィットリオ・デシーカ監督の『自転車泥棒』、そしてジャック・タチ監督の『ぼくの伯父さんの休暇』についてバザンが書いた評論を取り上げ、映画を実際に観た上で、吟味検討しつつ読み込むという作業をしています。最終的には、ゼミ生はバザンの評論を要約した上で、そ



れぞれの見解をレポートにして提出します。バザンの炯眼には実に感嘆すべきものがありますが、バザンに賛同するにせよ、彼を批判するにせよ、それぞれが自分なりの映画の見方を論述するのです。

映画を単なる娯楽に留めておきたい人には、私のゼミはお勧めできません。映画の面白さを学問的に探究し、自分の映画体験をいっそう深めてゆきたいという意欲のある人にお勧めします。理論的にしか発見できない映画の秘密があるかもしれない、そのような予感をもっている人、そんな人向けのゼミです。

ゼミ紹介

英米文化学科

米坂スザンヌ
3年ゼミ(1部)
【英語教育】

米坂ゼミのテーマは応用言語学です。応用言語学とは、学際的な言語学の分野を意味します。言語関連の現実問題を特定し、調査し、解決策を提示します。応用言語学は、外国語教育、機械翻訳、特殊な目的のための言語(例:ホテル業界向けの言語)などの様々なトピックを取り扱っています。誰もが言語を使っているので、誰もが応用言語学の中に興味深いトピックを見つけることができます!

ゼミの目的は卒業研究を完成させる技術を身につける事にあります。卒業研究テーマとして『TOEICテストに出る語彙と観光英語検定試験に出る語彙は一致しているのか?』等様々な興味深い研究を行っています。ゼミでは4年生になると、データを集め、英語で卒業論文を書く事になりますので、米坂ゼミでの3年生はそのチャレンジを成功する為の下準備をします。

英語で卒業論文を書ける力をつける為に米坂ゼミでは大部分が英語で行われています。ゼミで利用しているテキストは当然、英語で書かれています。各章では、応用言語学の分野が一つ一つ紹介されています。(例:語用論、コーパス言語学、



語彙、談話分析)。授業では三回に渡り各章を読み込んでいきます。ゼミ生はペアで理解しやすい英語で概要を作製し、他のゼミ生に内容を教え合います。授業の中で、英語での専門用語も少しずつ覚え、四技能も自信がついてきます。

それと同時に卒業研究へと繋がる応用言語学の研究論文の読み方を練習します。ゼミ生はそれぞれが読んだ章と同じテーマに関する日本語で書かれた研究論文を探しそれを読みます。授業の四回目に、その論文を他のゼミ生に日本語で紹介する事と言う事を繰り返ししながら、研究論文の読み方に慣れて行きます。

人文学部 TOPICS

人文学会レポート

人文学会第5回大会

「松浦武四郎の光と影」

(2017年11月4日 D30 番教室で開催)



130人を超える熱心な聴講者で会場はほぼ満席になり、武四郎人気の根強さを印象づけました。趣旨説明の後に行われた三浦泰之氏（北海道博物館）の基調講演に対し、学内外の3人の研究者がそれぞれの立場から多様な角度で論評を加えるといった形で進行していきました。会場では、大学が誇る北駕文庫コレクションの中から武四郎が箱館奉行所に提出した自筆日誌も特別展示され、大学の意外なコレクションに驚く人も少なくありませんでした。

人文学の挑戦

人文学部教員の研究成果を広く社会に還元するイベント、「人文学の挑戦」を紀伊国屋書店札幌本店インナーガーデンで開催して、2017年度内に14回を迎えました。今年度は世界遺産アカデミーから講師をお迎えしたり、教員とゼミ生と一緒に研究成果を発表したりと新たな試みに取り組みました。人文学部では今後も人文学の魅力を社会に発信してまいります。開催予定は学部HPやFacebookでお知らせしていますので、ぜひ足をお運びください。



第12回

2017年3月25日(土) 14:00~15:30

「Crossing Borders

—音楽／映画／アメリカ文化—」

講師 本城誠二（英米文化学科教授）

第13回

2017年7月23日(日) 15:00~16:30

「世界遺産とダークツーリズムの先にあるもの

—負の歴史をどのように記憶し、どう生かすべきか—」

講師 大森一輝（英米文化学科教授）
宮澤光（NPO法人世界遺産アカデミー主任研究員）

第14回

2017年11月12日(日) 15:00~16:30

「一緒に読もう、三浦綾子

—若い読者と「発見」する、三浦綾子の魅力—」

講師 田中綾（日本文化学科教授）
田中ゼミの学生

「弁論のススメ」開催

昨年度から本学部生の課外活動を広く紹介する企画が始まりました。12月16日には、第二回目となるイベント、「弁論のススメ“言葉のチカラ”で心を動かす!〜大学生弁論大会」が開催されました。各種弁論大会で優秀な成績を収め、企業研修講師としても活動中の高松瑞樹さん（英米文化学科）の講演とワークショップに続き、佐藤ゆきさん（本学法学部）が『新しい私』について、赤岡祐治さん（北海道大学）が『守りたい音楽』について弁論を披露してくれました。自己と向き合う中で紡ぎ出された言葉は聴衆に強い印象を与え、「上手く話す技術」という弁論のイメージを刷新する機会になりました。



新ひだか町図書館への図書寄贈

広げよう読書の輪、
新ひだか町図書館とともに

2017年3月、北海学園大学人文学部の有志教員が持ち寄った図書およそ2千冊が、北海学園大学附属図書館の除籍本およそ1千冊とともに新ひだか町図書館に寄贈されました。今回の取り組みは、北海道内に読書の輪を広めようと企画されました。写真は北海学園寄贈図書コーナーに置かれた寄贈図書の一部です。町民の皆さんに手にとってもらえるといいですね!



ヒューマン 2018.2 Vol.10

表紙キャッチコピー:

文化についての深い理解を涵養することが異文化社会に生きる人々と真のコミュニケーションを結ぶ力になる、という人文学教育の理念をあらわしたものです。

——— 文化を学ぶ 世界と繋がる ———

北海学園大学人文学部 日本文学学科(1部・2部)／英米文化学科(1部・2部)



〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 TEL.011-841-1161(代表) FAX.011-824-7729

URL <http://human.hgu.jp/>

制作・印刷: (株)アイワード PD: 馬場康広 [(株)アイワード 2000年人文学部日本文化学科卒]